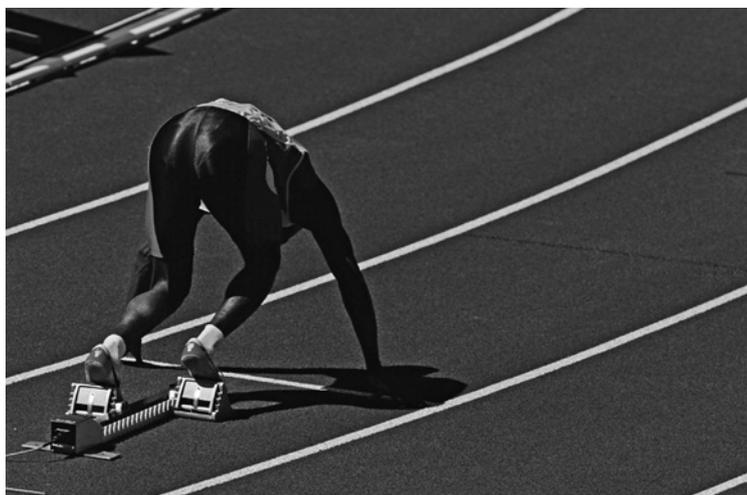


2014年度

# 大学院入学試験要項

## 体育学研究科



2014  
CHUKYO UNIVERSITY

# 目 次

1 概要および特色・教員組織	1 ページ
2 出願資格	4 ページ
3 選抜方法	4 ページ
4 募集定員・試験日程・試験科目等	5 ページ
5 出願書類	7 ページ
6 出願について	8 ページ
7 学費等	8 ページ
8 試験会場への交通案内	9 ページ
9 キャンパスマップ	10 ページ
10 研究分野の紹介	11 ページ

## 卷末書類

志願書                      卷末A  
身元保証書                卷末B

## 同封書類

受験票・写真票・検定料払込票  
検定料払込用紙  
宛名シール  
出願用封筒

身体に機能障害がある場合は、各試験の出願開始日の4週間前までに必ず学部学事課まで文書にてお申し出ください。受験に際して特別措置を講ずることがあります。  
なお、障害の状況によっては、就学が不可能な場合もありますので、併せてお問い合わせください。

## 2014年度 中京大学大学院入試日程

### 博士前期（修士）課程

		研究科	願書受付期間	試験日	
前期日程	A日程	国際英語学* <sup>1</sup> (国際英語学)	2013年 6月10日(月) ～ 6月21日(金)	7月 5日(金)	
		心理学		7月 5日(金)・7月 6日(土)	
		経営学		7月 6日(土)	
		情報科学		7月 5日(金)・7月 6日(土)	
		経済学* <sup>2</sup> (経済学)		7月 6日(土)	
	B日程	文学	2013年 9月 2日(月) ～ 9月12日(木)	9月27日(金)	
		国際英語学		9月28日(土)	
		社会学		9月28日(土)	
		法学		2013年 8月26日(月) ～ 9月 6日(金)	9月19日(木)
		経済学 (総合政策学)		2013年 9月 2日(月) ～ 9月12日(木)	9月28日(土)
後期日程	C日程	文学	2014年 1月17日(金) ～ 1月28日(火)	2月12日(水)	
		国際英語学		2月13日(木)	
	D日程	心理学	2014年 1月 8日(水) ～ 1月16日(木)	2月 3日(月)・2月 4日(火)	
		社会学		2014年 2月 3日(月) ～ 2月14日(金)	2月28日(金)
		法学		2014年 1月27日(月) ～ 2月 7日(金)	2月21日(金)
		経済学		2014年 2月 3日(月) ～ 2月14日(金)	3月 1日(土)
		経営学		2014年 2月10日(月) ～ 2月21日(金)	
		情報科学		2014年 1月31日(金) ～ 2月 7日(金)	2月24日(月)・2月25日(火)
体育学	2014年 1月27日(月) ～ 2月 6日(木)	2月22日(土)			

### 博士後期課程

		研究科	願書受付期間	試験日	
前期日程	A日程	経済学* (経済学)	2013年 6月10日(月) ～ 6月21日(金)	7月 6日(土)	
		情報科学		7月 5日(金)	
後期日程	B日程	体育学	2013年 9月 2日(月) ～ 9月12日(木)	9月28日(土)	
		C日程		文学	2014年 1月17日(金) ～ 1月28日(火)
心理学	2014年 1月 8日(水) ～ 1月16日(木)		2月 3日(月)・2月 4日(火)		
後期日程	D日程	社会学	2014年 2月 3日(月) ～ 2月14日(金)	2月28日(金)	
		法学		2014年 1月27日(月) ～ 2月 7日(金)	2月21日(金)
		経済学		2014年 2月 3日(月) ～ 2月14日(金)	3月 1日(土)
		経営学		2014年 2月10日(月) ～ 2月21日(金)	
		情報科学		2014年 1月31日(金) ～ 2月 7日(金)	2月24日(月)
		体育学		2014年 1月27日(月) ～ 2月 6日(木)	2月22日(土)

※…経済学専攻A日程は、2013年度秋学期入学希望対象入試

※1…国際英語学専攻A日程は、2013年度秋学期入学希望対象  
※2…経済学専攻A日程は、2013年度秋学期入学希望対象入試含む

# 1 概要および特色・教員組織

近年、様々な方面で体育・スポーツに対する関心・需要が高まっている。こうした社会の要望に適切に対処するため、本体育学研究科では体育・スポーツに関する高度でかつ多面的な研究が不可欠であるとの認識に立って、次のような分野の教育・研究に取り組んでいる。

- ① 健康づくりに関する研究
- ② 体力づくりに関する研究
- ③ 運動の精神的効果に関する研究
- ④ スポーツの社会科学研究
- ⑤ スポーツの歴史、文化に関する研究
- ⑥ 生涯スポーツに関する研究
- ⑦ 競技力向上に関する研究

総合科学としての体育学の特徴をふまえ、本研究科は5つの系からカリキュラムを編成し、研究指導等を行っている。

系別の特色は次のとおりである。

## 【スポーツ文化・社会科学系】

スポーツにかかわる思想・文化・歴史・社会・教育・政治・法律・経営・経済・産業など、文化事象として、社会現象として、また制度として認識されるスポーツを、幅広い問題意識のなかで捉え、これを科学的方法論に即して分析・検討を加える。

## 【スポーツ認知・行動科学系】

スポーツにおける心理的問題の解決を基本課題とする系である。従来の心理学的方法とスポーツ科学の方法との統合を目指しながら、スポーツ行動に関する認知的問題、メンタルトレーニングの問題、計量的問題、臨床心理的問題、発達と加齢の問題などについての教育・研究を進める。

## 【スポーツ生理学系】

運動によって起こる身体の変化と、運動を可能にする身体の仕組みを、形態・生理・生化学的に幅広く研究する。このような研究から、身体運動を通じて達成される体力の強化、活動力の向上、健康の増進、疾病の予防や老化の防止、疾病の治療の基礎になる資料などを得ることを目的とする。

## 【健康科学系】

人の健康は、遺伝・環境・行動の諸要因の複雑な関連の上に成り立っている。これら諸要因と健康の関連を、傷病の予防および健康の維持・増進の観点から研究する。主な課題は、健康の維持・増進と運動、スポーツ障害の予防、傷病からのスポーツ復帰、保健行動、様々な社会要因と健康の関連などである。

## 【応用スポーツ科学系】

研究の中核にバイオメカニクスをおき、その他の多分野、たとえば生理学、心理学、教育学などの研究方法も取り入れ、学際研究的な科学を目指す。これらの研究結果を新しいトレーニング法、コーチング法に応用するための研究を進める。

博士前期課程（修士課程）の目標は研究者の養成と高度の専門性を備えた職業人の養成に置いているので、できるかぎり多彩な科目を用意することに心掛けている。

博士後期課程の特色は、2か年の博士前期課程（修士課程）の上に3か年の博士後期課程を乗せるという積み上げ方式をとり、他大学の修士課程修了者および外国人留学生を積極的に受け入れる方針を取っていることである。

また、博士後期課程の目標は自立した研究者を養成することにあるので、教育の中心は系毎に開かれる複数教員の参加したセミナー、および個人指導を中心にした研究指導に置かれている。

研究科全体のもう一つの特徴は、本学にある他の研究科との単位互換制度を取り入れていることである。この制度を利用することにより、スポーツ文化・社会科学系と社会学研究科・経営学研究科、スポーツ認知・行動科学系あるいは健康科学系と心理学研究科、応用スポーツ科学系と情報科学研究科など、様々な組み合わせ履修が可能となっている。

本学では、よりよい教育研究のため、「教育研究上の目的に関する規程」を作成し、その中で、各研究科の「人材の養成に関する目的」を明記しています。体育学研究科については、以下の通りです。

### ●体育学研究科の「人材の養成に関する目的」

- (1) 博士前期課程は、体育学・健康科学の領域における専門知識を修得させ、博士後期課程に進学して体育学・健康科学研究の専門職を目指す人材を養成するとともに、指導力向上を志す社会人の再教育を行い、高度の技術と指導力を備えた人材を養成する。
- (2) 博士後期課程は、体育学・健康科学の領域における専門知識を修得させ、体育学研究を自立的に遂行できる能力を培い、高等教育機関や研究所等において教育研究職に従事できる人材を養成する。

体育学研究科長 桜井伸二

博士前期課程  
(修士課程)

[スポーツ文化・社会科学系]

専任教授	近藤良享	スポーツ原論研究
〃	菊池秀夫	スポーツ経営学研究
〃	來田享子	スポーツ史研究
兼任講師	木村吉次	スポーツ文化・社会科学研究セミナー
〃	高橋義雄	スポーツ社会学研究Ⅱ
〃	川西正志	生涯スポーツ論研究・スポーツ社会学研究Ⅰ
〃	藤原庸介	スポーツジャーナリズム論研究
〃	友添秀則	スポーツ政策論研究
〃	真田久未	スポーツ人類学研究
実験実習助手	小野暖未	

[スポーツ認知・行動科学系]

専任教授	家田重晴	健康学研究
〃	柿山哲治	スポーツ教育学研究
兼担教授	小山哲	実験スポーツ心理学研究
兼任講師	武田徹	スポーツ認知・行動科学研究セミナー
〃	杉原隆	幼児体育論研究
〃	谷口幸一	スポーツ加齢学研究
〃	青柳領	スポーツ行動計量論研究
〃	長岡由紀子	臨床スポーツ心理学研究
実験実習助手	加藤広大	

[スポーツ生理学系]

専任教授	北川薫	運動生理学研究Ⅲ
〃	松本孝朗	運動栄養学研究
〃	梅村義久	運動生理学研究Ⅰ
専任准教授	荒牧勇	運動生理学研究Ⅱ
兼任講師	山本高司	運動生理学研究Ⅴ
〃	片山敬章	運動生理学研究Ⅳ
実験実習助手	大家利之	

[健康科学系]

専任教授	中川武夫	スポーツ健康学研究
〃	渡辺文真	スポーツ衛生学研究
〃	坂本龍雄	疫学研究
〃	清水卓也	スポーツ医学研究
専任講師	倉持梨恵子	健康科学研究セミナー
兼任講師	田中豊穂	健康科学研究セミナー
実験実習助手	武鹿由貴	

〔応用スポーツ科学系〕

専任教授	湯浅景元	コーチング論研究
〃	桜井伸二	スポーツバイオメカニクス研究
〃	高橋繁浩	コンディショニング研究
専任准教授	室伏広治	応用スポーツ科学研究セミナー
〃	田内健二	応用スポーツ科学研究セミナー
兼任教授	堀山健治	スポーツ指導論研究
兼任講師	高松薫	トレーニング論研究
〃	池上康男	バイオメカニクス研究
〃	鬼頭純三	機能解剖学研究
〃	村瀬智彦	スポーツ測定学研究
実験実習助手	石村和博	

〔各系共通〕

兼任教授	中田友一	スポーツ科学研究法Ⅰ
兼任講師	山本裕二	スポーツ科学研究法Ⅱ
兼任教授	スティーブ・クラーク	スポーツ科学研究法Ⅲ

博士後期課程

専任教授	中川武夫	健康科学特殊研究・研究指導
〃	北川薫	スポーツ生理学特殊研究・研究指導
〃	湯浅景元	応用スポーツ科学特殊研究・研究指導
〃	家田重晴	スポーツ認知・行動科学特殊研究・研究指導
〃	近藤良享	スポーツ文化・社会科学特殊研究・研究指導
〃	菊池秀夫	スポーツ文化・社会科学特殊研究・研究指導
〃	渡辺文真	健康科学特殊研究・研究指導
〃	桜井伸二	応用スポーツ科学特殊研究・研究指導
〃	坂本龍雄	健康科学特殊研究・研究指導
〃	松本孝朗	スポーツ生理学特殊研究・研究指導
〃	清水卓也	健康科学特殊研究・研究指導
〃	梅村義久子	スポーツ生理学特殊研究・研究指導
〃	來田享子	スポーツ文化・社会科学特殊研究・研究指導
〃	柿山哲治	スポーツ認知・行動科学特殊研究・研究指導
〃	高橋繁治	応用スポーツ科学特殊研究・研究指導
専任准教授	荒牧勇	スポーツ生理学特殊研究・研究指導
〃	田内健二	応用スポーツ科学特殊研究・研究指導
兼任講師	木村吉次	スポーツ文化・社会科学研究セミナー
〃	武田徹	スポーツ認知・行動科学研究セミナー
〃	山本高司	スポーツ生理学特殊研究・セミナー
〃	田中豊穂	健康科学研究セミナー

# 2 出願資格

## 1. 博士前期課程（修士課程）

次の①～⑩のいずれかに該当する者

- ①学校教育法第83条に定める大学を卒業した者および2014年3月卒業見込みの者
- ②学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者および2014年3月までに授与される見込みの者
- ③外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2014年3月までに修了見込みの者
- ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において、履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および2014年3月までに修了見込みの者
- ⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2014年3月までに修了見込みの者
- ⑥専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2014年3月までに修了見込みの者
- ⑦文部科学大臣の指定した者
- ⑧大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本研究科委員会において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- ⑨本研究科委員会において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時に22歳に達した者
- ⑩その他本研究科委員会において、学校教育法第83条に定める大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

※出願資格⑧～⑩による出願を希望する（本研究科委員会において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の4週間前までに下記事務室までお問い合わせください。

対象者…飛び級による出願希望者、外国における3年制大学の卒業生、短期大学、高等専門学校、専修学校・各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者等

なお、教育職員免許法による養護教諭の専修免許状または一種免許状を有する者で22歳に達した者には、博士前期課程（修士課程）への出願資格を認めます。【「大学院および大学の専攻科の入学に関し大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定」（昭和28年文部省告示第5号）の一部改正による】

## 2. 博士後期課程

次の①～⑦のいずれかに該当する者

- ①修士の学位または文部科学大臣の定める学位を有する者および2014年3月までに取得見込みの者
- ②外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および2014年3月までに授与される見込みの者
- ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および2014年3月までに授与される見込みの者
- ④我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者および2014年3月までに授与される見込みの者
- ⑤文部科学大臣の指定した者
- ⑥本研究科委員会において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時に24歳に達した者
- ⑦その他本研究科委員会において、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

※なお、出願資格⑥～⑦による出願を希望する（本研究科委員会において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の4週間前までに下記事務室までお問い合わせください。

お問い合わせ先

スポーツ科学部事務室 TEL (0565) 46-1270

平日 9:00～16:00

土曜日 9:00～12:00

外国人留学生は、上記の他に次の条件を満たす必要があります。

出入国管理および難民認定法に定める在留資格「留学」に該当する者、および経過措置としての在留資格「就学」などを有する者。

※外国人留学生として国外から出願される場合は、出願期間以前の受け付けも可能です。

# 3 選抜方法

入学者の選抜は、①当日の試験、②研究または学習計画書（博士前期課程社会人入学志願者）および論文またはこれに代わる業績を記す書類（博士後期課程）、③出身大学・大学院の成績によって行います。

# 4 募集定員・試験日程・試験科目等

## 博士前期課程(修士課程)

募集定員	体育学専攻 12名					
出願期間	(前期日程) 2013年 9月 2日(月)～ 9月12日(木) (後期日程) 2014年 1月27日(月)～ 2月 6日(木)	郵送必着				
試験日	(前期日程) 2013年 9月28日(土) (後期日程) 2014年 2月22日(土)					
集合場所 集合時間	豊田キャンパス 14号館1階ロビー 9時30分集合 ただし、社会人入学志願者は12時30分に集合。					
試験科目等	10:00 外国語(英語) ※辞典の使用……電子型辞典は不可 12:00 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>一般入学志願者</td> <td>英和辞典1冊使用可</td> </tr> <tr> <td>外国人留学生入学志願者</td> <td>英和辞典1冊及び日韓辞典、日中辞典など1冊使用可</td> </tr> </table> <p>【一般入学志願者】以下の何れかの基準を満たす場合、外国語の試験を免除する。(その場合、得点を証明できる書類の原本を志願書に添付すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TOEFLスコア61点以上(iBT)、173点以上(CBT)、500点以上(PBT)</li> <li>・TOEICスコア650点以上</li> <li>・IELTSスコア5.5以上</li> <li>・英検準1級以上</li> </ul> <p>【社会人入学志願者】外国語(英語)試験を免除される。ただし、ここにいう社会人入学志願者とは入学時に社会人として3年以上の実務経験を有する者とする。</p> <p>【外国人留学生入学志願者】外国語試験として英語または日本語のいずれか一方を選択する。ただし、日本語能力試験(JEES)または日本語留学試験(EJU)を2年以内に受験したもので、日本語能力試験でN1レベル、もしくは日本語留学試験の日本語で200点以上の基準を満たしているものは外国語試験(英語または日本語)を免除する。(その場合、証明書類の原本を志願書に添付すること)</p> <p>*日本において、高等学校段階までの教育を修了した者は、ここにいう外国人留学生入学志願者には該当しない。</p>		一般入学志願者	英和辞典1冊使用可	外国人留学生入学志願者	英和辞典1冊及び日韓辞典、日中辞典など1冊使用可
一般入学志願者	英和辞典1冊使用可					
外国人留学生入学志願者	英和辞典1冊及び日韓辞典、日中辞典など1冊使用可					
	13:00 体育学 ※辞典の使用不可 14:40 <p>【一般入学志願者】自由記述形式の問題(15問)のうち5問を選択し、解答する。</p> <p>【外国人留学生入学志願者】自由記述形式の問題(15問)のうち2問を選択し、解答する。ただし、日本の大学を卒業した外国人留学生入学志願者については3問を選択し、解答する。</p> <p>□頭試問 ※研究計画または学習計画を中心とする。                  【社会人入学志願者】体育学の試験を免除される。ただし、同じ時間帯に口頭試問を実施する。</p>					
	15:00 □頭試問 ※研究計画または学習計画および卒業論文を中心とする。 17:00 【一般入学志願者】・【外国人留学生入学志願者】の口頭試問である。					
合否通知 発送日	(前期日程) 2013年10月 4日(金) (後期日程) 2014年 2月28日(金)	合格者・不合格者とも通知書を郵送します。				
入学手続 締切日	(前期日程) 第一次入学手続(入学金の納入のみ) 2013年10月11日(金) 最終入学手続(授業料等の納入および書類送付) 2014年 3月 7日(金) 郵送必着 (後期日程) 入学手続(入学金・授業料等の納入および書類送付) 2014年 3月 7日(金) 郵送必着					
入学辞退 締切日	2014年 3月31日(月)					

## 博士後期課程

### 募集定員

体育学専攻 4名

### 出願期間

(前期日程) 2013年 9月 2日(月)～ 9月12日(木)

(後期日程) 2014年 1月27日(月)～ 2月 6日(木)

郵送必着

### 試験日

(前期日程) 2013年 9月28日(土)

(後期日程) 2014年 2月22日(土)

### 集合場所 集合時間

豊田キャンパス 14号館1階ロビー 9時30分集合

### 試験科目等

10:00 外国語A (専門英語)

↓

12:00 外国人留学生志願者は、外国語B (日本語)

専門英語：体育学の専門分野の論文などを読解する英語能力を試すもの。英文を読み、日本語で答える形式。

※日本の大学における学部を卒業した者は、ここにいう外国人留学生入学志願者には該当しないため、一般入学志願者となる。

・受験者は全員、TOEIC、TOEFL、もしくはIELTSのスコア票（試験日の2年前までに受験したスコアに限る）の何れかをその他の提出書類とともに提出すること。また、スコア票は原本に限る（コピーは不可）。

\*辞典の使用……電子型辞典は不可

一般入学志願者	英和辞典1冊使用可
外国人留学生入学志願者	英和辞典1冊及び日韓辞典、日中辞典など1冊使用可

13:00～ 口頭試験

※研究計画および修士論文あるいは既研究概要を中心とする。

### 合否通知 発送日

(前期日程) 2013年10月 4日(金)

(後期日程) 2014年 2月28日(金)

合格者・不合格者とも通知書を郵送します。

### 入学手続 締切日

(前期日程) 第一次入学手続(入学金の納入のみ)

2013年10月11日(金)

最終入学手続(授業料等の納入および書類送付)

2014年 3月 7日(金) 郵送必着

(後期日程) 入学手続(入学金・授業料等の納入および書類送付)

2014年 3月 7日(金) 郵送必着

### 入学辞退 締切日

2014年 3月31日(月)

# 5 出願書類

※記入は黒色のボールペンで、証明書類は3か月以内に作成されたものを提出してください。

受 写 検 定 料 払 込 票	<p>①写真（正面上半身脱帽、縦4cm×横3cm、3か月以内に撮影）の裏面に氏名を記入し、貼付してください。</p> <p>②検定料については、8ページ「2. 検定料」を参照の上、払込手続を行い振替払込受付証明書（願書貼付用）を貼付してください。</p>
--------------------------------------	---

志 願 書	<p>①所定の用紙を使用してください。→巻末A</p> <p>②希望する指導教員と事前に連絡をとってから出願してください。志望する学系（分野）や指導教員の選択にあたって不明な点は、スポーツ科学部事務室にお問い合わせください。なお、指導教員は入学決定後に最終決定していただきます。</p> <p>③最終学校について、卒業年だけでなく入学年も記入してください。</p>
-------------	--

証 明 書 の 他	博士前期課程 （修士課程）	<p><b>卒業証明書 成績証明書 （見込みを含む）</b> 最終出身大学作成のものを提出してください。（全員提出） ※大学院を修了した者または修了見込みの者は、その学位授与証明書および成績証明書も併せて提出してください。</p> <p><b>研究もしくは 学習計画</b> 社会人入学志願者のみ提出してください。 本研究科に入学した場合の研究もしくは学習に関する目標や計画について志望動機等も含め、3,000字程度にまとめたものを5部提出してください。（出願前に希望する系の教員と研究計画について打合せすることが望ましい。）</p> <p><b>語学試験 証明書</b> 語学関係試験の免除を申請する場合には、証明書類の原本を提出してください。</p>
-----------------------	------------------	---

証 明 書 の 他	博士後期課程	<p><b>卒業証明書 成績証明書 （見込みを含む）</b> 最終出身大学院作成のものを提出してください。</p> <p><b>論 文</b> ①修士論文およびその要旨（A4判4,000字程度）を<b>各3部</b>。要旨は日本語で記述すること。 ②前期日程志願者で修士論文が未完の場合、研究の中間報告書（A4判4,000字程度）<b>3部</b>の提出をもって①に代えることができる。 ③修士論文以外の既刊行研究論文を出す者は、当該論文とその要旨（A4判4,000字程度）<b>各3部</b>を提出してもよい。 ※いずれもそのコピーで可。試験終了後も返却はしません。</p> <p><b>語学試験 証明書</b> TOEIC、TOEFL、もしくはIELTSのスコア票（試験日の2年前までに受験したスコアに限る）の原本を提出して下さい。</p>
-----------------------	--------	--

宛 名 シ ール	合否通知書発送に使用します。
-------------------	----------------

\*証明書等の氏名と現在の氏名が異なる出願者は、氏名の変更を証明できる書類（戸籍抄本等）も併せて提出してください。

- 外国人留学生は、上記の他に次の書類を提出してください。
- ①日本語の学力に関する指導教員、もしくはこれに準ずる者が証明した成績証明書  
※日本の大学を卒業（含見込み）した者および大学院を修了（含見込み）した者は、提出を免除。
  - ②外国人登録証明書の写しまたは外国人登録原票記載事項証明書（在留資格およびその期間が確認できるもの）
  - ③身元保証書（保証人が自筆で署名し、捺印したもの）→巻末B  
※保証人は日本に居住して生計を営んでいる者で、在留期間中の本人に関するすべての事項について保証できる者となります。
  - ④外国人志願者の提出書類（卒業証明書、成績証明書など）には、日本語訳を添付してください。

個人情報の取り扱いについて
<p>①志願書等に記入された住所・氏名・その他個人情報については、合否結果通知および合格者・入学手続者への各種案内の発送に利用します。</p> <p>②大学が業務を委託した会社に、個人情報の全部または一部を提供しますが、目的以外の用途に使用することはありません。あらかじめご了承ください。</p>

# 6 出願について

## 1. 出願方法

- ①出願にあたっては、**郵送必着**とします。
- ②所定の封筒が同封してありますので、必要事項を記入の上、「**簡易書留速達**」で送付してください。
- ③論文等が大きく所定の封筒に入らない場合は、所定の封筒の表面を切り取り、送付する封筒に貼付してください。  
(送付先) 〒466-8666  
名古屋市昭和区八事本町101-2 中京大学 教学部学事課  
※「簡易書留速達」で送付のこと

## 2. 検定料

- ①検定料 35,000円
- ②**検定料の納入はゆうちょ銀行または郵便局での振替に限り**ます。(現金、為替、銀行振込等は受け付けできません。) 所定の払込用紙に必要事項を記入し、最寄りのゆうちょ銀行または郵便局で手続をしてください。(機械による払込不可)
- ③検定料納入手続後、各票の日附印を確認の上、**振替払込受付証明書(願書貼付用)**を**検定料払込票の所定の欄に貼付**してください。
- ④振替払込請求書兼受領証は、大学発行の領収書とみなしますので大切に保管してください。

## 3. 注意

- ①試験当日は、試験開始30分前までに豊田キャンパス14号館1階ロビーに集合してください。
- ②受験票は必ず持参してください。

## 4. その他

- ①出願後は、書類の変更および検定料の払い戻しはできません。
  - ②受験票は願書受付終了後、随時郵送します。
  - ③受験票が試験日の3日前までに届かない場合は、下記へ連絡してください。  
中京大学 スポーツ科学部事務室 TEL(0565)46-1270
  - ④合格者の入学手続書類は、合格通知書とともに送付します。
  - ⑤研究内容・指導教員等についての問い合わせ先  
中京大学 スポーツ科学部事務室 FAX(0565)46-1297  
E-mail taiiku@mng.chukyo-u.ac.jp
- ※住所・氏名・電話番号・志望研究科名を明記の上、FAX または E-mail でお問い合わせください。

# 7 学費等

※この学費は2013年度入学生のもので、2014年度入学生の場合は、事情により改定することがあります。

(単位：円)

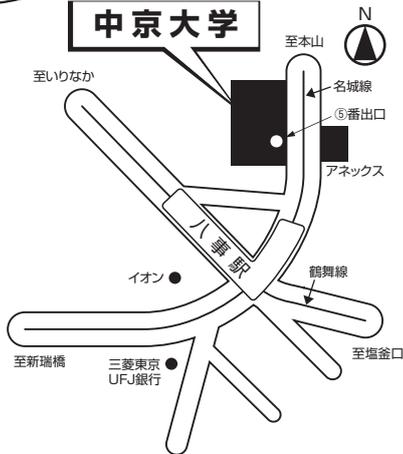
	入学金	授業料	教育充実費	実験実習費	年額計	入学時納付金
博士前期課程 (修士課程)	200,000	440,000	245,000	50,000	935,000	567,500
博士後期課程	200,000	400,000	200,000	50,000	850,000	525,000

- (注) 1. 博士前期課程(修士課程)の2年次納付金は、授業料・教育実習費については1年次と同額ですが、実験実習費については年20,000円減額となります。
2. 博士後期課程の2年次および3年次の納付金は、1年次と同額です。
  3. 「入学金」は入学時のみ納入、「授業料、教育充実費および実験実習費」は春学期・秋学期の2回に分けて納入していただきます。ただし、入学時の春学期分については、入学時納付金に含まれます。
  4. 中京大学卒業の博士前期課程(修士課程)入学者は、入学金が20,000円、および教育充実費は入学時の1年次春学期分のみ半額です。
  5. 本学博士前期課程(修士課程)から同一の研究科の博士後期課程への進学者は、入学金を免除します。
  6. 入学後、いくつかの特定科目の履修に際して別途履修費および実習費を徴収することがあります。
  7. 学費は「学則」の改定にともない在学中に変更することがあります。
  8. 2014年度入学の外国人留学生は、学費のうち「授業料」について3割減免措置を、博士前期課程(修士課程)に対しては入学後2年間、博士後期課程に対しては入学後3年間の各期間適用いたします。
  9. 入学辞退締切日までに入学辞退手続をした場合、入学時納付金のうち、入学金を除くその他の納付金を返金いたします。

# 8

## 試験会場への交通案内

### 名古屋キャンパス



地下鉄利用

鶴舞線・名城線八事駅下車  
⑤番出口より徒歩0分

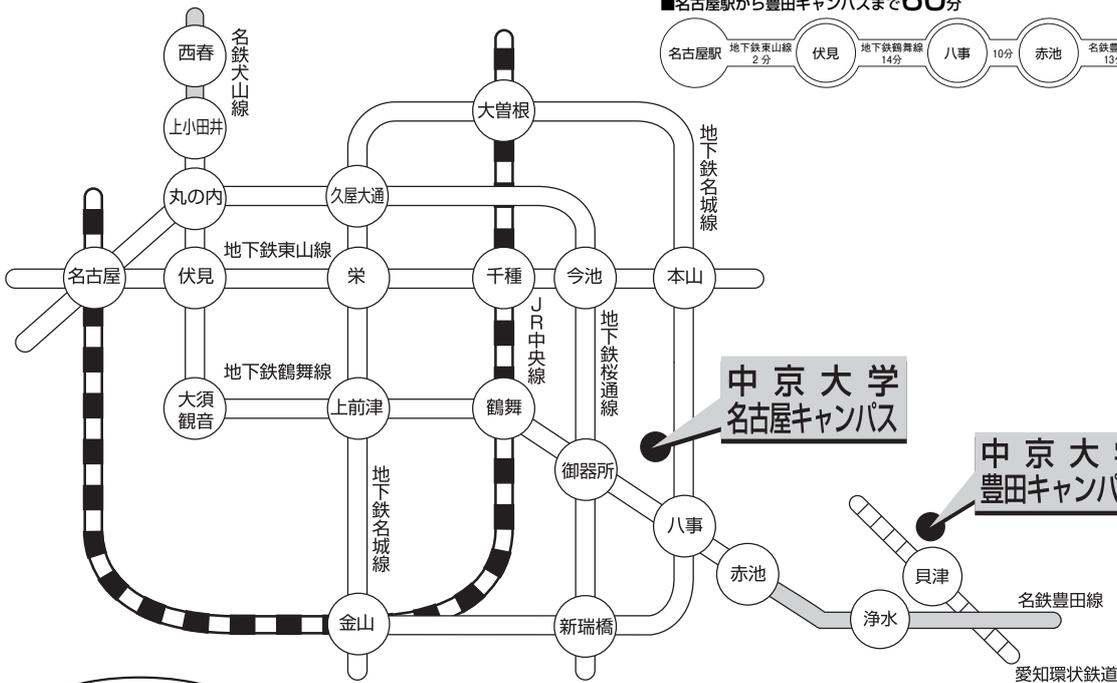
市バス利用

金山から金山⑫妙見町行き「八事(北)」下車  
※バス所要時間は約20分

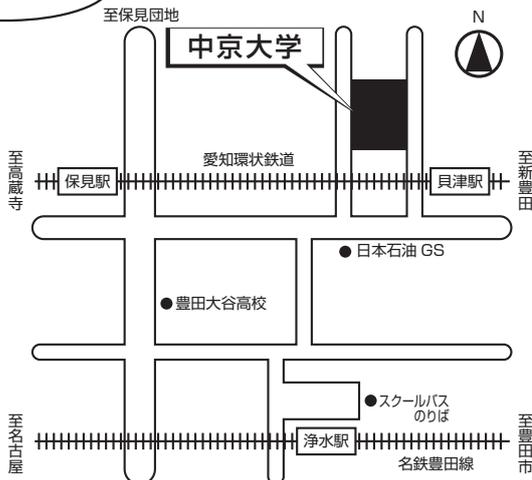
■名古屋駅から名古屋キャンパスまで25分



■名古屋駅から豊田キャンパスまで60分



### 豊田キャンパス



名鉄とスクールバス利用

名鉄豊田線浄水駅下車、スクールバス9分(無料)  
※地下鉄鶴舞線と名鉄豊田線は赤池駅で連絡されています。

愛知環状鉄道利用

愛知環状鉄道貝津駅下車、徒歩8分



# 10 研究分野の紹介

## 教員名 および 専攻分野

## 専攻分野の内容

KONDO, Yoshitaka  
**近藤 良享**  
 スポーツ倫理学  
 Sport Ethics

スポーツの価値が高まる中で、様々な問題が浮上している。これまでの価値判断基準では裁定できないような事例に対して、応用倫理学的方法を採用しながら、その解決の方向を探っていく。キーワードは、フェアプレイ、自己決定、パターンリズムであり、具体的対象には、ドーピング、環境、暴力・体罰、ジェンダー、メディア、審判・判定問題などがある。  
 (主な著作) 近藤良享『スポーツ倫理』不昧堂出版(2012)、近藤編著『スポーツ倫理の探究』大修館書店(2004)、友添・近藤編著『スポーツ倫理を問う』大修館書店(2000)。

KIKUCHI, Hideo  
**菊池 秀夫**  
 スポーツ経営学  
 Sport and Recreation  
 Management

スポーツやレクリエーション・サービスの提供に関わるマイクロ・マクロの問題について、消費者志向であるマーケティングの立場から検討している。参加者のニーズやベネフィット、選好、満足度等の把握をはじめとして、様々な消費者行動の分析枠組みに基づき、適切なサービスのあり方とそれを提供するシステムづくりについて関心がある。  
 (主な著作) 『生涯スポーツのマーケティング』(川西・野川編著「生涯スポーツ実践論」市村出版), 2012、『スポーツ組織の経営資源』(山下編「スポーツ経営学」大修館書店), 2000、『スポーツにおける経営とは』(池田・守能編「スポーツの経営学」杏林書院), 1999、『健康・スポーツの社会学』共著(建帛社), 1996。

RAITA, Kyoko  
**来田 享子**  
 スポーツ史  
 Sport History

スポーツ史専攻。特にオリンピック・ムーブメントの歴史に焦点をあて、スポーツ組織の権力のダイナミクス、ジェンダーなどの観点から国内外の史料を検討している。また、この検討で得られた歴史的知見をベースに、より多様な人々のスポーツの権利を保障するために必要とされる社会環境やスポーツそのものの変容についても考えている。  
 (主な著作) 「近代スポーツの発展とジェンダー」飯田・井谷編『スポーツ・ジェンダー学への招待』(2004) 明石書店、「1920-30年代における『オリンピック・ファミリー』の成立—近代オリンピック大会における女子陸上競技の採用をめぐる議論再考—」三井・池田編『今奏でよう、身体シンフォニー』叢文社(2007)、「1968年グルノーブル冬季五輪における性別確認検査導入の経緯—国際オリンピック委員会史料の検討を中心に—」楠戸一彦先生退職記念論集刊行会編『体育・スポーツ史の世界—大地と人と歴史との対話』溪水社(2012)、「指標あるいは境界としての性別—なぜスポーツは性を分けて競技するのか」杉浦・建石・吉田・来田編『身体・性・生命・個人の尊重とジェンダー』尚学社(2012)。

IEDA, Shigeharu  
**家田 重晴**  
 健康教育学  
 Health Education

保健行動に影響する要因についての研究、学校における健康教育内容体系に関する検討、交通安全教育・子どもの危機管理に関する研究、タイ国児童生徒の発育や生活に関する研究、喫煙・薬物乱用防止教育など。  
 (主な著書) 家田重晴『保健科教育 改訂第3版』(杏林書院、東京), 2010。

KAKIYAMA, Tetsuji  
**柿山 哲治**  
 健康教育学  
 Health Education

健康の捉え方や健康に対する価値観を正しく理解し、自らが中心となってヘルスプロモーションを指導・実践するための知識や技術を身につけ、様々な対象における生活習慣・体力・疾病の相互関連を明らかにし、行動変容のための支援法および健康教育の計画・評価方法について探求する。  
 (主な著作) 『新しい体育の授業づくり』(分担)(大日本図書), 2012、『健康づくりトレーニングハンドブック』(分担)(朝倉書店), 2010、『学校保健の世界』(分担)(杏林書院), 2010。

## 教員名 および 専攻分野

## 専攻分野の内容

KITAGAWA, Kaoru  
**北川 薫**  
 スポーツ生理学  
 Sports Physiology

研究分野は3点ある。第一は身体組成と体力の関係で脂肪量測定法の検討、肥満者の体力、日本人の身体組成、体重調整などである。第二はトップレベルにあるスキー、ゴルフ、ボウリング、水泳、サッカー、マウンテンバイク選手の生理学・バイオメカニクスの研究である。第三は健康運動で、陸上運動や水中運動の生理学・バイオメカニクス研究である。  
 (主な著書)『身体組成とウエイトコントロール』(単著)(杏林書院), 1991、『健康運動プログラムの基礎～陸上運動と水中運動からの科学的アプローチ～』(編著)(市村出版), 2005、『改訂運動とスポーツの生理学』(単著)(市村出版), 2009。

MATSUMOTO, Takaaki  
**松本 孝朗**  
 環境生理学・運動生理学  
 Environmental Physiology,  
 Exercise Physiology

環境が生態機能に及ぼす影響について研究する分野を環境生理学という。中でもヒトの暑熱適応、特に熱帯地住民の長期暑熱順化を主テーマとして取り組んできた。最近では運動・スポーツ・健康を中心とし、運動時の人の体温調節・エネルギー代謝への雨・風の影響、運動後の疲労回復法、ボクシングの減量、熱中症の予防など、幅広い研究を行っている。  
 (主な著書)『体温Ⅱ 体温調節システムとその適応』(分担)NAP, 2010、『からだの温度の事典』(分担)朝倉書店, 2010、(総説)暑熱への適応、日本医事新報、No.3893, 37-39, 1998。

UMEMURA, Yoshihisa  
**梅村 義久**  
 運動生理学  
 Exercise Physiology

運動またはトレーニングに対する身体の生理学的な適応に関する研究で、特に骨および筋について検討している。骨に関する研究においては、骨強度を高める運動様式や運動方法を検討し、それに対する骨の適応について研究をしている。筋については、筋・腱複合体の弾性などについて検討している。  
 (主な著作) (1) Exercise in Childhood for a Life-Long Bone Health, Sport Science and Studies in Asia, World Scientific, 79-88, 2010. (2) Non-uniform decay in jumping exercise-induced bone gains following 12 and 24 weeks of cessation of exercise in rats. J Physiol Sci 61: 487-495, 2011. (3) Viscoelasticity of the muscle-tendon unit is returned more rapidly than range of motion after stretching. Scand J Med Sci Sports 2013.

ARAMAKI, Yu  
**荒牧 勇**  
 身体運動制御・脳機能イメージング  
 Motor control,  
 functional neuroimaging

運動制御・学習のメカニズムを解明し、身体トレーニングやリハビリテーションへの応用を目指す。両手運動を中心とした四肢の協調運動制御・学習の神経メカニズムの解明、脳信号からの運動パフォーマンスの予測手法の開発、リアルタイム脳信号フィードバックの身体トレーニング・リハビリテーションへの応用が現在の主な研究テーマである。

## 教員名 および 専攻分野

## 専攻分野の内容

<p>NAKAGAWA, Takeo <b>中川 武夫</b> 健康科学 Health Science</p>	<p>運動は、健康の維持・増進に不可欠であることが明らかとなり、また、疾病の予防や治療にも用いられている。しかし、一方では運動中の突然死やスポーツ障害・外傷も後を絶たない。その中には、多くの予防できる事例も含まれている。こうしたスポーツ・運動と健康との関連、障害の予防などについて学ぶ。</p> <p>(主な著書)『テキスト健康科学』(分担)(南江堂), 2005。</p>
<p>WATANABE, Takemasa <b>渡辺 文真</b> 公衆衛生学 Public Health and Preventive Medicine</p>	<p>「何かができる・できない」という能力あるいは「何かをする・しない」という行動は、生活している環境の修飾を受けている。人とその生活環境との関わりを考究することにより、その人たちへの健康支援サービスはより豊かなものになる。運動・スポーツと健康との関わりについて、ヒト集団を対象として疫学的・行動科学的研究を実施している。</p> <p>(主な著作)『コア・ローテーション、地域保健医療／予防医療』(金芳堂), 2005、『症状からみた高齢者在宅介護マニュアル』(金芳堂), 2001。</p>
<p>SAKAMOTO, Tatsuo <b>坂本 龍雄</b> スポーツ健康科学 Sports and Health Science</p>	<p>わが国では、すべての国民が共に支え合い、健康で幸せに暮らせる社会をめざして、数次にわたり国民健康づくり対策が展開されてきた。今年度から取り組まれている「健康日本21(第2次)」では、生活習慣病の一次予防が最重要課題と位置づけられている。この専攻分野では、生活習慣を中心的にとりあげ、疾患の医学的な発症メカニズムだけでなく、疾患予防のための生活習慣のあり方、とりわけ運動・スポーツの意義について理解を深める。</p> <p>(主な著書)『よくわかる食物アレルギーの基礎知識』(分担)(独立行政法人環境再生保全機構), 2012、『小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2012』(分担)(共和企画), 2011など。</p>
<p>SHIMIZU, Takuya <b>清水 卓也</b> スポーツ医学 Sports Medicine</p>	<p>保健センターで、実際に診療を行っているので、第一線のスポーツによる運動器傷害を経験しており、特に肩関節、膝関節、足関節の傷害および疲労骨折の診断と治療を専門としている。身体的特徴と傷害の発生の関係、ストレッチによる効果や筋力低下、疲労骨折の早期復帰、インソールの効果などを研究対象としている。</p> <p>(主な著書)『疲労骨折』(分担)(文光堂), 1998、『テキスト健康科学』(分担)(南江堂), 2006など。</p>
<p>KURAMOCHI, Rieko <b>倉持 梨恵子</b> アスレティック・トレーニング Athletic Training</p>	<p>アスリートは常に怪我の危険と隣り合わせである。アスレティック・トレーニングはアスリートが抱えるスポーツ外傷・障害の予防を目標とし、その評価、応急処置、アスレティック・リハビリテーション、コンディショニングを包括的に扱う。特に運動器のスポーツ外傷・障害の要因を探求し、怪我をしにくい身体づくりのための方策を模索する。</p>

YUASA, Kagemoto  
**湯浅景元**  
 スポーツコーチング  
 Sport Coaching

コーチングとは、選手の潜在能力を引き出して競技力を向上させることである。この役割を達成するために、①体力・技術向上のためのトレーニング方法、②栄養、休養、睡眠などのコンディショニング方法、③スポーツ用具（打具、ボール、クツなど）に適応した動作方法、④選手のやる気を引き出すためのコミュニケーション方法などを研究する。

（主な著作）福永哲夫・湯浅景元『コーチングの科学』（朝倉書店）、湯浅景元ほか編著『体力づくりのためのスポーツ科学』（朝倉書店）。

SAKURAI, Shinji  
**桜井伸二**  
 スポーツバイオメカニクス  
 Sport Biomechanics

Bio（生命あるいは生体）と Mechanics（力学あるいは機序）の合成語であるバイオメカニクスは、狭義には生体の構造や機能を力学的観点から解明する科学であり、広義には「身体の運動」の全般に関する科学である。力学、解剖学、生理学の基礎知識と、ビデオ画像解析などの分析法を用いて歩、走、跳、投、打などスポーツの動作をより深く理解しようと試みる。

（主な著作）桜井伸二編著『投げる科学』（大修館書店）、深代千之・桜井伸二他編著『スポーツバイオメカニクス』（朝倉書店）。

TAKAHASHI, Shigehiro  
**高橋繁浩**  
 コンディショニング研究  
 Sport Conditioning

競技選手にとってのコンディショニングとは、競技会に向けて心身の状態をより好ましい方向に整えることを目指すことである。そのための栄養、休養、リラクゼーション、トレーニングとしての身体活動などを含む、総合的で短期的な働きかけについて、実際の競技の場における事例や研究報告を提示しながら授業を展開していく。また、トレーニングの実践方法について実技を通じて理解を深める。

MUROFUSHI, Koji  
**室伏広治**  
 スポーツ・パフォーマンス・システム研究  
 Sport Performance Enhancement System

動作分析等の結果をそのまま記述しただけでは選手のパフォーマンス向上には直結しない。実験結果を評価し、どのように改善していくかを総合的に判断する事が重要である。トレーニング後の研究現場にフィードバックし、好循環を生むことが望まれる。研究者と選手の架け橋となる、システム化したパフォーマンス向上法を考える。

TAUCHI, Kenji  
**田内健二**  
 スポーツバイオメカニクス・トレーニング科学  
 Sport Biomechanics, Training Science

バイオメカニクス分野の動作分析、あるいは生理学分野の体力の測定評価を中心とした研究手法を用いて、身体の仕組み、あるいは運動の仕組みを理解し、どのようにすれば効果的、効率的にパフォーマンス（特に、競技パフォーマンス）を向上させられるかを学ぶ。最終的には、理論に裏付けられたトレーニング手段の構築を目指す。

# 卷 末 書 類



# 志 願 書

体育学 研究科		体育学 専攻		※	
課 程 (○で囲む)	博士前期 (修士) ・ 博士後期 (博士)			志望する分野	学系
				志望する教員名	
試験区分 (○で囲む)	一 般 ・ 社 会 人 ・ 留 学 生			留 学 生	修 士
				英 語 ・ 日 本 語	
氏 名	フリガナ			国 籍	外国人のみ国籍を記入
	1 9 年 月 日 生 歳 男・女				
現住所 (連絡先)		〒			写真貼付欄 注) 3か月以内に撮影したもの 注) 縦4cm×横3cm
		TEL( ) -			
帰省先		〒			
		TEL( ) -			
履 歴 事 項	年 (西暦) ・ 月	事項 [学歴は高校卒業から最終学校卒業(修了)または卒業(修了)見込まで記入、職歴も記入]			
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				
	・				

※印欄は記入しないでください。

氏名

※

修士論文または卒業論文	題目：
	概要：

注：博士前期課程（修士課程）修了者は修士論文について、学部卒業者（卒業見込み者）で卒業論文を作成した者は卒業論文についてその題目と概要を記すこと。学部卒業者で卒業論文を作成していない場合は、その旨を記入してください。  
別紙にて提出したものは不要。

入学後の研究計画案	

注：社会人入学志願者は別に研究計画もしくは学習計画書(3000字程度)を作成し、提出するので、本欄の記入は不要。

中京大学大学院

外国人留学生志願者用

※

## 身元保証書

中京大学長 殿

フリガナ  
学生氏名 (漢字)

学生氏名 (ローマ字)

生年月日 (西暦) 19 年 月 日 年齢 国籍

私は上記の者が中京大学大学院外国人留学生として日本に在留中、責任をもって下記事項を保証いたします。

1. 本人が学業に専念するよう監督すること
2. 本人が学費、生活費、帰国旅費および医療費を支払えない時の経済的負担
3. 本人が日本国法令上関係するあらゆる場合の身元引き受け

保証人氏名

現住所

電話 ( ) -

職業 (詳細に)

年収 (税込み)

本人との関係

日付

署名

印





**入試に関する問い合わせ**

〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町101-2

**中京大学 教学部学事課**

**TEL(052)835-7180**

**受付時間**

平日 9:00~16:00

土曜日 9:00~12:00